

「*medicina*」 第31巻 総目次

1994年 第1号～第13号

(数字は頁数, ()は号数を示す.)
11号は増刊号につき不掲載.

〔今月の主題〕

消化器疾患の治療法 1994年の再評価

〈食道疾患〉

- 逆流性食道炎/食道潰瘍……………関口 利和 6(1)
食道静脈瘤……………六倉 俊哉 12(1)
食道癌……………小川 道雄・他 20(1)

〈胃・十二指腸疾患〉

- 慢性胃炎……………宮原 透 24(1)
胃・十二指腸潰瘍……………白井 孝之 30(1)
出血性潰瘍……………荒川 正一 36(1)
早期胃癌……………多田 正弘・他 40(1)
進行胃癌……………中島 聰總・他 44(1)

〈小腸・大腸疾患〉

- 炎症性腸疾患……………北洞 哲治・他 49(1)
過敏性腸症候群; 治療の変遷と再評価
……………桜井 幸弘 54(1)
感染性腸炎……………高橋 裕・他 58(1)
大腸ポリープと早期癌; 内視鏡治療の適応と限界
……………五十嵐正広・他 63(1)
進行大腸癌……………棟方 昭博・他 69(1)

〈肝疾患〉

- B型慢性肝炎……………飯野 四郎 74(1)
C型慢性肝炎……………清澤 研道 81(1)
劇症肝炎……………与芝 真 86(1)
重症アルコール性肝炎…上野 義隆・他 91(1)
原発性胆汁性肝硬変…田中 直見・他 97(1)
肝硬変に伴う腹水, 浮腫…柴田 実 102(1)
肝硬変に伴う出血傾向……………金山 正明 110(1)
肝性脳症……………渡辺 明治 114(1)
肝細胞癌……………山崎 隆弘・他 122(1)

〈膵・胆道系疾患〉

- 重症急性膵炎……………吉田 憲司・他 126(1)
胆嚢内結石症……………石原扶美武・他 132(1)
総胆管結石症……………中島 正継・他 137(1)
胆道系感染症……………永田 博司 143(1)
悪性腫瘍による胆道閉塞……………門田 俊夫 148(1)

内分泌疾患診療と研究の最前線

〈間脳下垂体疾患—遺伝子解析とその応用〉

間脳下垂体疾患の診療と研究の動向

- ……………宮井 潔 236(2)
下垂体機能低下症と *PIT 1* 遺伝子
……………巽 圭太 239(2)
甲状腺機能低下症と TRH 遺伝子および
TSH 遺伝子……………山田 正信・他 242(2)
末端肥大症および巨人症と *Gsα* 蛋白遺伝子
……………板東 浩 246(2)
先天性腎性尿崩症とバソプレシン(V2)受容体
遺伝子……………塚口 裕康・他 249(2)

〈間脳下垂体疾患—診断法の進歩〉

下垂体腺腫の機能病理学的手技

(1)—Reverse hemolytic plaque assay 法

- ……………山田 正三・他 255(2)

下垂体腺腫の機能病理学的手技

(2)—*In situ* hybridization 法

- ……………佐野 寿昭・他 259(2)

Cushing 病の確定診断—選択的¹海綿静脈洞

- 直接採血……………寺本 明 263(2)

下垂体の MRI 診断……………高橋 立夫・他 267(2)

〈間脳下垂体疾患—治療法の進歩〉

GnRH agonist による思春期早発症および

- 婦人科疾患の治療……………三宅 侃・他 274(2)

成長ホルモンによる下垂体性小人症の治療

- ……………田中 敏章 277(2)

下垂体腫瘍の radiosurgery による治療

- ……………河本 俊介 281(2)

〈甲状腺疾患—遺伝子解析とその応用〉

甲状腺疾患の診療と研究の動向

- ……………芦澤 潔人・他 285(2)
甲状腺機能異常症と TSH 受容体遺伝子
……………永山 雄二 288(2)
甲状腺ホルモン不応症と甲状腺ホルモン
受容体遺伝子……………中村 浩淑 291(2)

甲状腺ホルモンの産生とサイログロブリン遺伝子	家入蒼生夫	298(2)
TBG 異常症と TBG 遺伝子	森 祐一・他	302(2)
〈甲状腺疾患—診断法の進歩〉		
びまん性および結節性甲状腺腫の超音波診断	川内 章裕・他	307(2)
結節性甲状腺腫の穿刺細胞診断	福内 敦・他	315(2)
バセドウ病と TSH 受容体抗体	赤水 尚史	318(2)
新生児自己免疫性甲状腺疾患と TSH 受容体抗体	玉置 治夫・他	321(2)
〈甲状腺疾患—治療法の進歩〉		
バセドウ病の放射線治療	日下部きよ子・他	326(2)
悪性眼球突出症の治療およびその効果判定	横山 直方・他	329(2)
〈副甲状腺・代謝性骨疾患—遺伝子解析とその応用〉		
副甲状腺・代謝性骨疾患の診療と研究の動向	松本 俊夫	332(2)
副甲状腺機能の調節と副甲状腺ホルモン遺伝子	岡崎 具樹	335(2)
副甲状腺ホルモンと副甲状腺ホルモン受容体		
遺伝子	佐藤 幹二	339(2)
偽性副甲状腺機能低下症と $Gs\alpha$ 蛋白遺伝子	齊藤 寿一	344(2)
悪性腫瘍に伴う高 Ca 血症と副甲状腺ホルモン		
関連蛋白(PTHrP)遺伝子	池田 恭治	348(2)
〈副甲状腺・代謝性骨疾患—診断法の進歩〉		
副甲状腺腫瘍の超音波診断	山崎 知子・他	353(2)
高 Ca 血症の診断と副甲状腺ホルモン、副甲状腺		
ホルモン関連蛋白の測定	福本 誠二	358(2)
骨代謝回転の評価と骨代謝マーカーの測定	神崎 晋・他	362(2)
骨粗鬆症の診断と骨塩量の測定	福永 仁夫	367(2)
〈副甲状腺・代謝性骨疾患—治療法の進歩〉		
高 Ca 血症および骨粗鬆症の bisphosphonate		
による治療	竹内 靖博	372(2)
腎性骨異常栄養症の活性型ビタミン D による		
パルス療法	塚本 雄介	376(2)
〈副腎疾患—遺伝子解析とその応用〉		

副腎疾患の診療と研究の動向	名和田 新	380(2)
ステロイド産生過剰症におけるヒト 11β -水酸化		
酵素およびアルドステロン合成酵素	鈴木 洋通	383(2)
17 α -水酸化酵素欠損症と 17 α -水酸化酵素遺伝子	柳瀬 敏彦・他	386(2)
21 水酸化酵素欠損症と 21 水酸化酵素遺伝子	三木 哲郎・他	391(2)
高血圧と 11β -hydroxysteroid dehydrogenase		
遺伝子	武田 仁勇・他	395(2)
グルココルチコイドの作用発現の異常と		
グルココルチコイド受容体遺伝子	生山祥一郎・他	398(2)
〈副腎疾患—診断と治療法の進歩〉		
副腎腫瘍の画像診断	齊藤 郁夫・他	403(2)
副腎皮質ステロイド合成の局在診断—どの細胞で		
どの種類のステロイドホルモンが産生されて		
いるか?	笹野 公伸	407(2)
〈多発性内分泌腫瘍症〉		
褐色細胞腫の ^{131}I -MIBG による診断と治療	遠藤 啓吾・他	411(2)
臨床医のための血液疾患の理解		
〈知っておくべき基礎知識〉		
血液標本をみて何がわかるか	渡辺 清明	468(3)
血液疾患と検査データ	竹村 譲	478(3)
凝固系データのとらえ方	高松 純樹	483(3)
染色体検査と遺伝子解析の利用方法	平井 久丸	486(3)
〈貧血への対応〉		
貧血患者をみたらどう対応するか	木崎 昌弘	491(3)
貧血が急速に進行するときの鑑別	田口 博國	496(3)
自己免疫性溶血性貧血の診断と治療	藤井 寿一	500(3)
大球性貧血をみた場合	檀 和夫	503(3)
高齢者の貧血	森 真由美	506(3)
不応性貧血をどうフォローしていくか	浦部 晶夫	510(3)
腎性貧血とエリスロポエチン	遠藤 一靖・他	514(3)
〈多血症へのアプローチ〉		
多血症の定義とワークアップの方法	森岡 正信・他	517(3)
真性多血症の最近の治療	大屋敷一馬・他	522(3)

二次性多血症と治療 ……貞森 直樹	524(3)	筋肉痛 ……栗原 照幸	714(4)
〈白血球の増多と減少〉		〈異常症状からみた First-line 検査〉	
白血球増多症へのアプローチ 宮地 勇人	528(3)	意識障害 ……星野 晴彦	718(4)
白血球減少症の原因と対応		痙攣 ……宇高不可思・他	722(4)
……………藤森 好啓・他	532(3)	ショック ……熊沢 孝・他	724(4)
好酸球増多症はどのようにワーク		チアノーゼ ……笠井 俊夫・他	728(4)
アップするか ……村上 博和・他	535(3)	胸水・腹水 ……杉山幸比古	730(4)
〈血小板と凝固系異常〉		肝腫大 ……為田 靱彦・他	734(4)
血小板減少へのアプローチ ……倉田 義之	540(3)	脾腫 ……荒田 慎寿・他	738(4)
血小板増多へのアプローチ ……高橋 芳右	543(3)	黄疸 ……山内 真義・他	742(4)
特発性血小板減少性紫斑病		多尿 ……堀田 饒	745(4)
……………大橋 一輝・他	546(3)	乏尿・無尿 ……小林 正貴	748(4)
出血しやすい人をどうみていくか		リンパ節腫脹 ……岩田 純一	750(4)
……………朝倉 英策	549(3)	出血傾向 ……渡辺 清明	754(4)
DIC と悪性腫瘍 ……菊池 正夫	552(3)	Raynaud 症状 ……井上 哲文	758(4)
〈血液・造血管腫瘍のプライマー〉		咯血 ……鈴木 修治・他	760(4)
急性骨髄性白血病 ……押味 和夫	558(3)	吐・下血 ……菅野健太郎	762(4)
急性リンパ性白血病 ……辻本 卓子・他	562(3)	〈よくみる異常所見への First-line 検査〉	
慢性骨髄性白血病 ……西村 純二	568(3)	蛋白尿 ……鈴木 道彦・他	766(4)
二次性白血病 ……渡辺健太郎	572(3)	尿潜血陽性 ……村上 睦美	770(4)
白血病とリンパ腫の骨髄移植の現状		便潜血陽性 ……石森 章・他	774(4)
……………岡本真一郎	576(3)	白血球増多・減少 ……北村 聖	777(4)
多発性骨髄腫 ……畑 裕之・他	584(3)	貧血 ……大野陽一郎・他	780(4)
リンパ腫の治療 ……田中 健・他	590(3)	肝機能異常 ……池田 有成・他	784(4)
First-line 検査		血糖値異常 ……石森 正敏・他	788(4)
〈Editorial〉		高脂血症 ……原城 達夫・他	791(4)
First-line 検査：その有効な使い方		心電図異常 ……田辺 晃久	795(4)
……………中原 一彦	656(4)	不整脈 ……松本 万夫・他	798(4)
〈一般症状からみた First-line 検査〉		CEA, CA 19-9 ……田所 洋行・他	801(4)
発熱 ……高野 慎	658(4)	〈臨床場面に応じた First-line 検査〉	
全身倦怠感 ……後藤 守孝・他	662(4)	外来初診時・入院時の検査	
肥満 ……後藤 尚・他	664(4)	……………吉原幸治郎・他	804(4)
体重減少 ……上野 貴之・他	668(4)	術前の検査 ……中島 正暢・他	808(4)
頭痛 ……畑 隆志	670(4)	外科から内科へのメッセージ	
めまい ……井之口 昭・他	674(4)	〈Editorial〉	
呼吸困難 ……山城 一郎・他	678(4)	外科医の経験は外科手術の適応決定に	
咳嗽・喀痰 ……藤井 忠重・他	681(4)	どう影響するか ……出月 康夫	885(5)
動悸 ……徳山 淳・他	688(4)	高齢者の外科手術はどこまで可能か	
胸痛 ……井上 大介	690(4)	……………中山夏太郎	889(5)
腹痛 ……金子 栄蔵	692(4)	〈内視鏡下外科手術の現況と問題点〉	
嘔気・嘔吐 ……井上 正規	694(4)	進歩する内視鏡下手術とその功罪	
食欲不振 ……足立 靖・他	698(4)	……………山川 達郎・他	893(5)
下痢・便秘 ……早川 滉	702(4)	胆石症と胆嚢ポリープ ……木村 泰三・他	899(5)
浮腫 ……小岩 文彦・他	706(4)	食道表在癌 ……幕内 博康・他	902(5)
関節痛 ……渡辺 一雄・他	709(4)	早期胃癌 ……大上 正裕・他	905(5)

大腸の早期癌	沢田 俊夫・他	908(5)	エネルギー代謝	鈴木 裕也	1124(6)
腹腔鏡下消化管切除術	村井 隆三・他	913(5)	〈栄養素のとり方ー最近の話題〉		
自然気胸	河野 匡・他	917(5)	蛋白質・アミノ酸	岸 恭一・他	1129(6)
肺良性腫瘍	山口 明・他	922(5)	脂質・脂肪酸	秦 葭哉・他	1134(6)
腎・副腎摘出術	小野 佳成・他	925(5)	炭水化物	川井 紘一	1137(6)
前立腺肥大症と前立腺癌	田島 惇	930(5)	無機質・ビタミン	根津理一郎	1142(6)
膀胱腫瘍	松田 公志	934(5)	食物繊維と Glycemic Index		
尿路結石	松本 哲朗・他	936(5)		武井 泉・他	1148(6)
婦人科疾患	関 賢一・他	940(5)	新しいタイプの糖質甘味料	奥 恒行	1150(6)
〈進歩・向上した外科手術〉			経腸栄養法	遠藤 昌夫	1154(6)
冠動脈バイパス術	須磨 久善	945(5)	特殊栄養食品・JSD 食品・健康食品		
弁形成術	佐々木達哉・他	948(5)		淀川 都	1160(6)
解離性大動脈瘤の手術	渡部 幹夫	951(5)	栄養処方の実際	武田 純枝	1168(6)
頸動脈狭窄症の手術(内膜摘除術)			〈病態別栄養管理と指導の実際〉		
	根本 晴	956(5)	胃十二指腸潰瘍	吉田 昌・他	1175(6)
胸郭成形術	福島 鼎	959(5)	炎症性腸疾患	日比 紀文・他	1178(6)
乳癌の外科手術(乳房温存術)			消化管切除後一特に胃全摘術後について		
	福内 敦・他	963(5)		中根 恭司・他	1180(6)
乳房形成術	山本 浩	967(5)	肝疾患ー肝炎・肝硬変・肝不全		
肝移植	松波 英寿・他	971(5)		吉次 通泰・他	1183(6)
褥瘡の手術	平野 明喜	978(5)	胆 石	大神 吉光	1186(6)
〈癌の外科治療とその限界〉			慢性膵疾患	馬場 忠雄・他	1190(6)
食道癌	藤田 博正・他	982(5)	心不全	友田 春夫	1194(6)
胃癌	千福 貞博・他	986(5)	冠動脈疾患	半田俊之介・他	1197(6)
大腸癌	野登 隆・他	990(5)	高血圧	鈴木 洋通	1201(6)
胃悪性リンパ腫	濱名 元一	994(5)	高脂血症	中谷 矩章	1204(6)
原発性肝癌	佐藤 勤・他	998(5)	糖尿病	松岡 健平	1207(6)
転移性肝癌	崑原 康行・他	1001(5)	肥 満	丸山 博・他	1212(6)
胆道癌	島田 和明・他	1005(5)	痛 風	箱田 雅之	1215(6)
脾臓癌ー機能温存手術と拡大手術			ネフローゼ症候群	出浦 照國・他	1218(6)
	安田 秀喜・他	1008(5)	腎不全と透析	和田 孝雄	1223(6)
原発性肺癌	松原 義人・他	1012(5)	神経性食欲不振症・摂食障害	高木洲一郎	1226(6)
転移性肺腫瘍	坪田 紀明・他	1015(5)	骨粗鬆症	宮尾益理子・他	1228(6)
乳癌	小山 博記・他	1019(5)	アレルギー性疾患	原田 敬之	1232(6)
臨床医のための栄養ガイドス			在宅栄養管理の実際	酒井 靖夫・他	1234(6)
〈臨床に役立つ栄養の基本〉			〈健康増進・管理のための栄養摂取〉		
栄養学の概念	清野 裕	1088(6)	理想的な体重減少食	井上 修二	1240(6)
栄養状態の評価	今井 圓裕・他	1090(6)	食事により癌は予防できるか		
国民栄養調査結果	原 正俊	1096(6)		佐川 純司・他	1243(6)
栄養所要量	岡崎 光子	1102(6)	アルコール摂取と食事	堀江 義則・他	1246(6)
栄養成分表	平原 文子	1108(6)	動脈硬化と予防食	本間 康彦	1248(6)
栄養管理と指導	鈴木 久乃	1112(6)	妊娠中の栄養	牧野 恒久	1250(6)
成長と栄養	室谷 浩二・他	1116(6)	スポーツと栄養	山崎 元	1252(6)
疾病予防と栄養	板倉 弘重	1118(6)	循環器薬の使い方 1994		
標準体重の概念	勝川 史憲	1121(6)	〈循環器薬と予後の改善〉		

心不全治療と予後 ……申 偉秀・他 1326(7)
 狭心症の薬物治療と予後 大谷 望・他 1330(7)
 心筋梗塞後の薬物治療と予後
 ……清野 精彦・他 1332(7)
 不整脈治療と予後 ……小沢友紀雄 1335(7)
 高血圧治療と予後 ……後藤 英司・他 1342(7)
 高脂血症治療と予後 ……齋藤 康 1347(7)
 <心不全>
 心不全治療の基本 ……木原 康樹・他 1350(7)
 急性心不全治療薬の選択 垣花 昌明・他 1357(7)
 慢性心不全治療薬の選択 ……芹澤 剛 1360(7)
 ジギタリスの使い方 ……落合 正彦・他 1363(7)
 ACE 阻害薬の使い方 ……永井 良三 1365(7)
 β 遮断薬の使い方 ……半田俊之介・他 1368(7)
 カテコラミンの使い方 ……平山 治雄 1371(7)
 新しい強心薬 ……堀 正二・他 1375(7)
 <狭心症>
 狭心症治療の基本 ……山口 徹 1379(7)
 安定狭心症治療薬の選択 ……田村 勤 1384(7)
 不安定狭心症治療薬の選択 ……光藤 和明 1387(7)
 硝酸薬の使い方 ……渡辺 淳・他 1391(7)
 カルシウム拮抗薬の使い方
 ……鈴木 孝彦・他 1395(7)
 β 遮断薬の使い方 ……日浅 芳一・他 1399(7)
 抗血小板薬, 抗凝固薬の使い方
 ……石川 欽司・他 1402(7)
 薬物治療と PTCA・バイパスとの選択
 ……小宮山伸之・他 1407(7)
 <急性心筋梗塞>
 急性心筋梗塞治療の基本 延吉 正清・他 1411(7)
 急性心筋梗塞治療薬の選択
 ……鈴木 紳・他 1417(7)
 t-PA, ウロキナーゼの使い方
 ……佐藤 光・他 1420(7)
 カテコラミン, 強心薬の使い方
 ……樫田 光夫 1424(7)
 ACE 阻害薬の使い方 ……酒井 英行・他 1427(7)
 β 遮断薬の使い方 ……高沢 謙二 1432(7)
 抗血小板薬, 抗凝固薬の使い方
 ……早崎 和也 1435(7)
 新しい血栓溶解薬 ……長尾 建・他 1439(7)
 <不整脈>
 不整脈治療の基本 小川 聡・他 1443(7)
 上室性頻拍の治療薬の選択 ……山口 巖 1447(7)
 心室頻拍の抗不整脈薬治療 ……相沢 義房 1450(7)

徐脈性不整脈の治療薬の選択
 ……水牧 功一・他 1453(7)
 class I 抗不整脈薬の使い方 ……笠貫 宏 1456(7)
 カルシウム拮抗薬の使い方
 ……鈴木 章古・他 1463(7)
 抗不整脈薬による不整脈 瀬川 和彦・他 1466(7)
 新しい抗不整脈薬 ……神谷香一郎・他 1468(7)
 薬物療法とカテーテルアブレーションとの選択
 ……杉 薫 1471(7)
 <高血圧>
 高血圧治療の基本 ……猿田 享男 1474(7)
 高血圧治療薬の選択 ……三浦伸一郎・他 1483(7)
 利尿薬の使い方 ……関 顕 1487(7)
 α 遮断薬の使い方 ……島本 和明・他 1491(7)
 β 遮断薬の使い方 ……羽野 卓三・他 1495(7)
 カルシウム拮抗薬の使い方 ……築山久一郎 1499(7)
 ACE 阻害薬の使い方 ……小野 歩・他 1503(7)
 新しい高血圧治療薬 ……日和田邦男 1506(7)
 <高脂血症>
 高脂血症治療の基本 ……木下 誠・他 1509(7)
 高コレステロール血症治療薬の使い方
 ……神崎 恒一・他 1512(7)
 高中性脂肪血症治療薬の使い方
 ……村上 透・他 1515(7)
 <心筋症>
 肥大型心筋症治療の使い方
 ……加来 秀基・他 1518(7)
 拡張型心筋症治療の使い方
 ……横田 慶之・他 1520(7)
 <その他の疾患と循環器薬の使い方>
 低血圧 ……丸山 幸夫・他 1523(7)
 大動脈瘤 ……黒木 茂広・他 1528(7)
 閉塞性動脈硬化症 ……折口 信人・他 1531(7)
 肺血栓塞栓症 ……吉田 一郎・他 1535(7)
 原発性肺高血圧症 ……国枝 武義 1538(7)
 感染症心内膜炎 ……増田 善昭 1541(7)
 神経疾患の画像診断
 <Editorial>
 神経疾患の画像診断の進め方
 ……山口 昂一 1600(8)
 <画像診断のモダリティー適応と限界>
 単純X線写真 ……早川 克己・他 1603(8)
 CT ……御供 政紀・他 1606(8)
 MR ……片田 和廣 1608(8)
 脊髄造影—CT を含む ……宮坂 和男 1612(8)

X線血管撮影—DSA を含む…前原 忠行	1614(8)
MR アンギオグラフィ ……小林 剛	1616(8)
核医学検査—PET, SPECT	
……………松田 博史	1619(8)
超音波検査 ……………勝俣 康史	1623(8)
〈虚血性脳血管病変〉	
脳梗塞—CT・MR の役割と経時的变化の観察	
……………細矢 貴亮・他	1627(8)
閉塞性静脈疾患 ……………榎本 京子	1632(8)
〈出血性脳血管病変〉	
MR 画像における出血巣の画像コントラスト	
とその成因 ……………内野 晃	1638(8)
脳出血における CT の意義 …渡部 恒也	1642(8)
高血圧性脳内出血とその鑑別診断	
……………小川 敏英・他	1647(8)
くも膜下出血—動脈瘤, 動静脈奇形を含む	
……………小川 敏英・他	1652(8)
〈感染・炎症性病変〉	
脳膿瘍—MR 所見を中心に	
……………井田 正博・他	1656(8)
ウイルス性髄膜炎 ……柳町 徳春・他	1662(8)
その他の頭蓋内感染症—結核, 真菌, 寄生虫,	
HIV 感染など……………鎌田 憲子	1666(8)
〈脳腫瘍〉	
髄内腫瘍 ……………小玉 隆男・他	1672(8)
髄外腫瘍 ……………池田 俊昭	1678(8)
〈白質病変—MR を中心に〉	
脱髄疾患 ……………百島 祐貴・他	1683(8)
代謝性・原発性白質病変 石蔵 礼一・他	1686(8)
血管性白質病変 ……………岡本浩一郎・他	1690(8)
〈末梢中枢神経障害〉	
末梢中枢神経系の機能解剖	
……………石井 清・他	1698(8)
末梢性中枢神経障害 ……青木 茂樹・他	1704(8)
〈脊椎・脊髓疾患〉	
脊椎・脊髓の画像解剖 …越智 誠・他	1710(8)
脱髄・変性疾患 ……………岩崎 聖・他	1714(8)
脊椎・脊髓感染症 ……………佐々木真理・他	1721(8)
血管病変 ……………松本 俊一・他	1726(8)
脊髓腫瘍—MRI を中心に	
……………鈴木 正行・他	1731(8)
脊椎変性疾患 ……………持田 譲治	1736(8)
〈外傷性病変〉	
頭部外傷 ……………加地 辰美	1741(8)
脊椎・脊髓外傷 ……………劉 清隆・他	1746(8)

〈画像診断で注目されている神経疾患と病態〉	
Cortical Laminar Necrosis	
……………高橋 昭喜	1750(8)
下オリーブ核肥大 ……河田 泰・他	1752(8)
眼球運動障害における MRI の有用性—	
脳幹病変について ……徳丸 阿耶・他	1757(8)
〈神経疾患で注目されているモダリティ〉	
中枢神経系 MR 画像における最近の進歩	
……………藤田 典彦	1762(8)
Helical Scanning CT ……小倉 祐子・他	1764(8)
水電解質・酸塩基平衡の調節とその異常	
〈Editorial〉	
Na に関する身近な話 ……菱田 明	1840(9)
〈血清 Na 濃度の調節とその異常〉	
血清 Na 濃度の調節機構 ……石川 三衛	1842(9)
血清 Na 濃度異常による症状	
……………小椋 陽介	1844(9)
高 Na 血症の鑑別診断と対策	
……………鈴木 洋通	1848(9)
低 Na 血症の鑑別診断と対策	
……………清水 倉一	1850(9)
〈体内 Na 量(体液量)の調節とその異常〉	
体内 Na 量(体液量)の調節機構	
……………高橋 信行・他	1856(9)
体内 Na 量(体液量)の異常による症状	
……………土谷 健・他	1859(9)
体液量欠乏(脱水症)の原因とその治療	
……………前田 憲志・他	1862(9)
体液量過剰の原因とその治療	
……………岡田 浩司・他	1865(9)
浮腫の鑑別診断の進め方 ……北本 清	1868(9)
〈K の調節とその異常〉	
K 代謝の調節機構 ……安原 進吾・他	1874(9)
血清 K 濃度異常による症状	
……………寺尾 統彦・他	1877(9)
高 K 血症の原因と治療法	
……………倉持 雄彦・他	1880(9)
低 K 血症の原因と治療法	
……………湯浅 繁一・他	1883(9)
〈Ca・P の調節とその異常〉	
血清 Ca・P 濃度の調節機構…塚本 雄介	1888(9)
血清 Ca・P 濃度異常とその症状	
……………沼田美和子・他	1891(9)
高 Ca 血症の治療法—Do と Do not	
……………佐藤 幹二	1894(9)

低 Ca 血症の原因と治療法 …熊谷 裕通 1898(9)
 血清 P 値の異常の原因と治療法
 ……普天間新生・他 1900(9)
 <酸塩基平衡とその異常>
 酸塩基平衡の調節機構 ……浅野 泰 1906(9)
 代謝性アシドーシスの鑑別診断と対策
 ……柳田 太平・他 1908(9)
 代謝性アルカローシスの鑑別診断と対策
 ……平岡 敬介・他 1912(9)
 呼吸性アシドーシス・アルカローシスの
 原因と治療法 ……村田 朗・他 1916(9)
 血液ガス分析結果の見方・考え方
 ……吉原 史樹・他 1919(9)
 酸塩基平衡異常と水電解質異常の関係
 ……佐藤 武夫・他 1922(9)
 <疾患と水電解質・酸塩基平衡の異常>
 肝硬変にみられる水電解質・酸塩基平衡の異常
 ……山門 実 1926(9)
 糖尿病にみられる水電解質・酸塩基平衡の異常
 ……海津 嘉蔵・他 1929(9)
 心疾患にみられる水電解質・酸塩基平衡の異常
 ……中村 正・他 1932(9)
 悪性腫瘍にみられる酸塩基・水電解質異常
 ……宮崎 睦雄・他 1934(9)
 妊娠時の水電解質・酸塩基平衡調節
 ……出浦 照國・他 1937(9)
 高齢者の水電解質・酸塩基平衡異常
 —Na 代謝異常を中心に
 ……西村 元伸・他 1940(9)
 非ステロイド系抗炎症薬による水電解質代謝異常
 ……長谷川 尚・他 1944(9)
 誤った輸液により起こしやすい水電解質・
 酸塩基平衡の異常 ……松川 重明・他 1946(9)
 <特殊な病態に関する話題>
 本態性高 Na 血症の病態生理
 ……木野内 喬 1952(9)
 特発性浮腫の成因と治療
 ……大和田 章・他 1955(9)
 低レニン・低アルドステロン症と高 K 血症
 ……片山 茂裕 1958(9)
 Bartter 症候群の病態生理
 ……種本 雅之・他 1960(9)
 尿細管性アシドーシスの障害部位と障害機序
 ……富田 公夫・他 1964(9)
 腎不全時の Ca 代謝異常—最近の知見

……………福田 直子・他 1966(9)
 利尿薬による低 Na 血症 ……米村 克彦 1968(9)
 マグネシウムと循環器疾患
 ……長谷部直幸・他 1971(9)
 内科エマージェンシー
 <救急基本手技>
 心肺蘇生法 ……青木 重憲 2054(10)
 除 細 動 ……吉野 秀朗 2061(10)
 循環動態のモニタリング ……中川 晋 2064(10)
 救急薬品の minimum requirement
 ……田中 行夫・他 2069(10)
 <症候別内科エマージェンシー>
 ショック ……篠沢洋太郎・他 2073(10)
 昏 睡 ……星野 晴彦 2076(10)
 せん妄 ……構木 睦男 2079(10)
 一過性の意識消失 ……丹羽 潔・他 2082(10)
 激しい頭痛 ……坂井 文彦 2086(10)
 痙 攣 ……畑 隆志 2088(10)
 回転性めまい ……鈴木 淳一 2092(10)
 急性の四肢麻痺 ……栗原 照幸 2096(10)
 胸 痛 ……西 裕太郎・他 2100(10)
 背 部 痛 ……高沢 謙二 2104(10)
 呼吸困難 ……小西 得司 2108(10)
 咯 血 ……楠目 馨・他 2110(10)
 吐血・下血 ……白井 孝之 2114(10)
 急性腹痛 ……広岡 大司・他 2118(10)
 乏尿・無尿 ……小西孝之助 2121(10)
 出血斑—出血傾向 ……西村 純二 2124(10)
 全身性発疹 ……早川 和人 2127(10)
 <疾患別内科エマージェンシー>
 TIA と脳梗塞 ……足立 智英・他 2130(10)
 脳出血(高血圧性) ……鈴木 義夫 2133(10)
 くも膜下出血 ……林 成之・他 2136(10)
 不安定狭心症 ……鈴木 紳・他 2140(10)
 急性心筋梗塞 ……佐伯 文彦・他 2144(10)
 不整脈(頻脈・徐脈) ……杉 薫・他 2147(10)
 急性心不全 ……加勢田直人・他 2150(10)
 大動脈解離 ……高木 力・他 2153(10)
 高血圧エマージェンシー 下澤 達雄・他 2157(10)
 急性呼吸不全 ……小野 容明 2162(10)
 気管支喘息 ……工藤宏一郎 2164(10)
 肺血栓塞栓症 ……吉沼 正喜・他 2168(10)
 気胸・胸水・膿胸・血胸 下方 薫・他 2171(10)
 食道・胃静脈瘤破裂 ……豊永 純・他 2174(10)
 胃・十二指腸潰瘍 ……杉山 貢・他 2177(10)

急性腹膜炎	門田 俊夫	2180(10)
腸閉塞・イレウス	田代 博一・他	2183(10)
急性肝不全	白澤 宏幸・他	2186(10)
急性胆嚢胆管炎	河原 弘規	2188(10)
急性脾炎	杉山 恵一・他	2190(10)
急性腎不全	岡田 和久・他	2194(10)
尿路結石	村井 勝・他	2198(10)
低 Na 血症	石川 裕泰・他	2201(10)
高 K 血症	堅村 信介	2204(10)
高 Ca 血症	竹田 秀・他	2208(10)
甲状腺クリーゼと粘液水腫昏睡	石川 直文	2210(10)
糖尿病エマージェンシー	細川 和広	2213(10)
敗血症	青木 眞	2216(10)
脊髄圧迫症候群	植松 稔・他	2218(10)
呼吸器薬の使い方		
〈Editorial〉		
呼吸器疾患における薬物療法のポイント	大石 光雄	2295(12)
〈気管支喘息の薬物療法のポイント〉		
喘息の発症メカニズムおよび病態からみた薬物療法の原則	今井 俊道・他	2300(12)
喘息の治療プログラムの進歩	真野 健次	2305(12)
気管支喘息の管理—step up, step down のタイミング	長坂 行雄・他	2308(12)
経口 β 刺激薬の使い方	中野 純一・他	2313(12)
経口抗アレルギー薬の使い方	中川 武正	2317(12)
漢方方剤による治療法	江頭 洋祐	2320(12)
テオフィリンの使い方	来栖 博・他	2325(12)
ステロイド薬の投与方法とその功罪	工藤宏一郎	2330(12)
β 刺激薬による吸入療法	菊谷 健彦・他	2333(12)
BDP(Beclomethasone dipropionate)の使い方	石原 享介	2336(12)
DSCG(Disodium cromoglycate)の使い方	灰田美和子	2341(12)
吸入性抗コリン薬の適応と限界	大川健太郎・他	2345(12)
心因の関与した喘息の薬物療法	東田 有智	2348(12)
経口減感作療法	須甲 松伸	2352(12)
喘息の病態に対してリスクファクターと		

なり得る薬剤	大石 光雄	2355(12)
〈慢性閉塞性肺疾患と気管支拡張症〉		
慢性気管支炎の薬物療法	斉藤 元泰・他	2359(12)
慢性肺気腫の薬物療法の適応と限界	岡田 千春・他	2362(12)
慢性閉塞性肺疾患に対する吸入性抗コリン薬の効果	栗原 直嗣・他	2365(12)
慢性気道炎症性疾患の増悪予防のための抗生物質の使い方	吾妻安良太・他	2369(12)
気管支拡張症の薬物療法	木原 令夫	2373(12)
〈呼吸器感染症の薬物療法〉		
かぜ症候群とインフルエンザ	浜島 吉男・他	2377(12)
いわゆる市中感染性肺炎	山木戸道郎・他	2380(12)
院内感染性肺炎	杉山幸比古	2383(12)
日和見感染による肺炎	赤川志のぶ・他	2386(12)
マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎・ウイルス肺炎	矢野 敬文・他	2389(12)
肺結核・非定型抗酸菌症	網谷 良一・他	2392(12)
胸膜炎・膿胸	伊藤 正己	2395(12)
〈アレルギー性・間質性・肺疾患の薬物療法〉		
過敏性肺臓炎	安藤 正幸・他	2399(12)
アレルギー性気管支肺アスペルギルス症	大塚 英彦・他	2402(12)
好酸球性肺炎	東田 有智	2404(12)
薬剤性肺臓炎・放射線肺臓炎	佐野 靖之	2407(12)
サルコイドーシスの薬物療法の実際	舩谷 仁丸・他	2412(12)
膠原病性肺疾患	瀬戸口京吾・他	2415(12)
特発性間質性肺疾患	棟方 充	2418(12)
〈心因の関与する呼吸器疾患〉		
過換気症候群の薬物療法	永田 頌史	2421(12)
神経性咳嗽の薬物療法	江花 昭一	2424(12)
〈薬物療法からのターニングポイント〉		
人工呼吸管理	細川 芳文	2427(12)
在宅酸素療法	原 英記・他	2430(12)
補液—特に喘息発作との関係から	中島 宏昭・他	2434(12)
狭心症—診断と治療の新しい展開		
〈Editorial〉		
わが国における狭心症の諸問題	中野 赳	2512(13)

わが国における虚血性心疾患の位置づけ	嶋本 喬 2516(13)
冠危険因子	松村 康弘 2520(13)
〈成 因〉	
動脈硬化の発症機序	小山 則行 2522(13)
冠動脈血栓生成のメカニズム	黒川 浩史・他 2526(13)
冠動脈攣縮の発症機序と病態	久木山清貴・他 2529(13)
冠血流と心筋虚血	濱口 保武・他 2531(13)
Coronary regression	山本 章 2534(13)
〈診 断〉	
病歴聴取と理学所見の重要性	志賀 幸夫・他 2538(13)
狭心症を疑ったときのアプローチ法	横井 尚・他 2542(13)
安静時心電図と運動負荷心電図	三宅 良彦・他 2545(13)
超音波検査の意義	時澤 郁夫・他 2548(13)
心臓核医学検査とその展望—心筋シンチ	
グラフィ	藤永 剛・他 2552(13)
狭心症における MR の位置づけ	佐久間 肇・他 2555(13)
冠動脈造影検査の今後の方向性	西田 隆広・他 2558(13)
無症候性心筋虚血	岸田 浩 2562(13)
冠攣縮の診断法および誘発試験	白壁 昌憲・他 2564(13)
〈治療総論〉	
狭心症に対する治療法の選択	光藤 和明 2567(13)
高齢者や心機能低下を合併した狭心症の	
治療の基本	向井 済・他 2571(13)
〈Conventional Therapy〉	
一般療法—冠危険因子の是正	田村 勤 2574(13)
亜硝酸薬の有用性と問題点	木之下正彦 2579(13)
β 遮断薬の有用性と問題点	上田 欽造・他 2582(13)
Ca 拮抗薬の有用性と問題点	堀 正二・他 2587(13)
抗血小板薬	江見 吉晴 2590(13)
抗高脂血症薬	梶波 康二・他 2593(13)
不安定狭心症の薬物治療	土師 一夫・他 2599(13)

狭心症と運動療法	吉田 秀夫・他 2604(13)
狭心症と不整脈治療	井上 博 2606(13)
〈Interventional Therapy〉	
冠動脈バイパス手術の適応	布施 勝生 2611(13)
PTCA の進歩と今後のあり方	中西 成元 2616(13)
再狭窄は克服可能か	堀江 俊伸 2618(13)
New device への期待と問題点	木村 剛 2621(13)
〈トピックス〉	
血管内視鏡からの知見	白鳥 健一・他 2624(13)
DCA から得られた動脈硬化像	笠行 典章・他 2627(13)

〔カラーグラフ〕

〔生検による組織診断〕

1. 生検組織診の意義	坂本 穆彦 177(1)
2. 肺	河合 俊明 433(2)
3. 肝臓(I)	中沼 安二 609(3)
4. 肝臓(II)	中沼 安二 829(4)
5. 消化管(I)	滝澤登一郎 1035(5)
6. 消化管(II)	滝澤登一郎 1267(6)
7. 腎臓(I)	伊藤 信夫 1553(7)
8. 腎臓(II)	伊藤 信夫 1779(8)
9. 皮 膚	杉原 佳子・他 1989(9)
10. リンパ節	元井 信 2233(10)
11. 骨髓(I)	北川 昌伸 2453(12)
12. 骨髓(II)	北川 昌伸 2643(13)

〔グラフ〕

〔内科疾患と骨・関節病変〕

1. 腎性骨異常栄養症	福田 国彦・他 169(1)
2. 慢性関節リウマチ	江原 茂 437(2)
3. von Recklinghausen 病における骨軟部病変	の画像
	福田 国彦・他 615(3)
4. CPPD および他の crystal deposition disease	江原 茂 815(4)
5. 糖尿病に伴う骨・関節軟部の変化	福田 国彦・他 1041(5)
6. 好酸球性肉芽腫	江原 茂 1277(6)
7. 線維性骨異形成	福田 国彦・他 1559(7)
8. DISH および他の paravertebral ossification	江原 茂 1785(8)
9. 疲労骨節	福田 国彦・他 1995(9)
10. 結核性関節炎	江原 茂 2239(10)
11. 慢性関節リウマチ以外の膠原病における骨軟部	病変
	福田 国彦・他 2247(12)

12. 骨粗鬆症……………江原 茂 2651(13)	
〔MRI 演習〕	
1. 脳卒中発作(I)……………荒木 力 163(1)	
2. 脳卒中発作(II)……………荒木 力 443(2)	
3. 月経困難症……………荒木 力 623(3)	
4. 複雑な内部構造を持つ骨盤腔腫瘍 ……………荒木 力 815(4)	
5. T1 強調像でも T2 強調像でも低信号を示す 骨盤腔腫瘍……………荒木 力 1047(5)	
6. 肝腫瘍性病変……………荒木 力 1283(6)	
7. 大脳基底核が T1 強調像で低信号, T2 強調像で 高信号となる疾患……………荒木 力 1567(7)	
8. 偶然発見された後腹膜腫瘍 ……………荒木 力 1791(8)	
9. 偶然発見された脾腫瘍……………荒木 力 2003(9)	
10. 脳形成異常(I)……………荒木 力 2247(10)	
11. 胸部 X 線像で異常を指摘された 66 歳の男性 ……………荒木 力 2441(12)	
12. 臀部痛を訴えて来院した 35 歳の女性 ……………荒木 力 2657(13)	
〔図解病態のしくみ: 遺伝子・サイトカインからみた血液疾患〕	
1. 急性前骨髄球性白血病……………木崎 昌弘 183(1)	
2. 成人 T 細胞性白血病 ……森 茂久 450(2)	
3. 非ホジキンリンパ腫……………田野崎隆二 629(3)	
4. 多発性骨髄症……………中島 秀明 842(4)	
5. 慢性骨髄性白血病……………高山 信之 1053(5)	
6. 移植片対宿主症……………石田 明 1289(6)	
7. 再性不良性貧血……………内田 秀夫・他 1578(7)	
8. DIC(汎血管内凝固症候群) 川合 陽子 1797(8)	
9. 血小板膜蛋白異常……………村田 満 2011(9)	
10. TTP/HUS ……横山 健次・他 2254(10)	
11. 慢性肉芽腫症……………田中 葉子 2466(12)	
12. 発作性夜間血色素尿症……………岡本真一郎 2663(13)	
〔薬を正しく使うための Drug Information: 副作用について〕	
1. 適切な薬の使い方の原則…多賀津幸男 190(1)	
2. 医薬品の副作用とその早期発見および被疑薬の チェック……………高橋 隆一 456(2)	
3. 抗不整脈薬による不整脈の悪化 ……………木全 心一 642(3)	
4. インターフェロンとうつ病・自殺企図 ……………上島 国利 852(4)	
5. アンギオテンシン変換酵素阻害薬と咳・腎機能 障害……………石本二見男 1063(5)	

6. エリスロポエチンと高血圧症性脳症 ……………石本二見男 1295(6)	
7. 血栓溶解薬による出血……………塚田 理康 1585(7)	
8. 高脂血症治療薬による横紋筋融解症 ……………中村 治雄 1806(8)	
9. インターフェロンと間質性肺炎 ……………中谷 龍王 2008(9)	
10. 高カロリー輸液製剤によるアシドーシス ……………岡田 正・他 2258(10)	
11. タンナルピンによるショック ……………鈴木 修二 2476(12)	
12. G-CSF と間質性肺炎 ……………浦部 晶夫 2667(13)	
〔臨床医に必要な老人をみる眼〕	
1. 老人の高血圧症……………小野 歩・他 192(1)	
2. 老人の低血圧……………今鷹 耕二 454(2)	
3. 狭心症を有する老人のケア ……………井上 宗信・他 638(3)	
4. 老人の糖尿病……………阿部 隆三 848(4)	
5. 高齢者のパーキンソン病…圓谷 建治 1059(5)	
6. 高齢者の心不全一特に急性心不全と拡張機能 障害……………茅野 真男・他 1298(6)	
7. 老年者の慢性肝障害……………永田 博司 1582(7)	
8. 老年者の慢性閉塞性肺疾患 ……………神野 悟 1802(8)	
9. 老年者の貧血……………苅尾 七臣・他 2262(10)	
10. 老年者の慢性腎盂腎炎……………鈴木 隆夫 2472(12)	
11. ストーマ造設老人……………片山 隆市・他 2670(13)	
〔これからの医療と医療制度〕	
1. 医療施設の体系化……………寺崎 仁 195(1)	
2. 特定機能病院……………寺崎 仁 459(2)	
3. 療養型病床群……………寺崎 仁 641(3)	
4. 老人病院……………寺崎 仁 855(4)	
5. 老人保健施設……………寺崎 仁 1078(5)	
6. ゴールド・プラン……………寺崎 仁 1300(6)	
7. 医療保険のしくみ……………寺崎 仁 1589(7)	
8. 出来高払いと定額払い……………寺崎 仁 1808(8)	
9. 診療報酬改定……………寺崎 仁 2016(9)	
10. 高齢化社会と医療……………寺崎 仁 2260(10)	
11. 要介護老人の処遇……………寺崎 仁 2480(12)	
12. 療養環境とアメニティ……………寺崎 仁 2674(13)	
〔目でみるトレーニング〕	
問題 1 ……鈴木 紳 155(1)	
2 ……荒崎 圭介 156(1)	
3 ……杉山幸比古 157(1)	

4	福井 祥二	158(1)
5	多田 正大	424(2)
6	福井 祥二	425(2)
7	荒崎 圭介	426(2)
8	杉山幸比古	427(2)
9	多田 正大	600(3)
10	福井 祥二	601(3)
11	杉山幸比古	602(3)
12	鈴木 紳	603(3)
13	荒崎 圭介	820(4)
14	大塚 弘友	821(4)
15	久保西一郎	822(4)
16	小野 容明	823(4)
17	吉野 秀朗	1028(5)
18	小宮山 純	1030(5)
19	久保西一郎	1031(5)
20	吉野 秀朗	1260(6)
21	長谷川 修	1262(6)
22	野坂 俊介	1263(6)
23	黒岩 義之	1545(7)
24	久保西一郎	1546(7)
25	宮崎 治	1547(7)
26	黒岩 義之	1773(8)
27	久保西一郎	1774(8)
28	川口 洋	1775(8)
29	吉野 秀朗	1980(9)
30	久保西一郎	1982(9)
31	今野 彰子	1983(9)
32	吉野 秀朗	2227(10)
33	下山田和裕	2228(10)
34	青葉 重光	2229(10)
35	元 鍾聲	2459(12)
36	田野 吉彦	2460(12)
37	久保西一郎	2461(12)
38	岡本 英明	2636(13)
39	鈴木 ゆめ	2637(13)
40	大西 孝宏	2638(13)

[medicina Conference]

(第5回) 頻回に続く頭痛と動悸を主訴に救急外来を

受診した35歳の女性

浜重 直久・藤田 敏郎・細川 和広

古家 恵子 210(1)

(第6回) 口渇と頻尿、食後の腹痛を自覚し、突然の意識消失で救急搬送された59歳の男性

森 由弘・山下 和彦・松井 保恵

虫本 光徳・板東 浩 856(4)

(第7回) 全身リンパ節腫脹と皮疹を呈した63歳の男性

岡林 旬子・高田 淳

西野 奨一・楠瀬 桂・桑名隆一郎

(第8回) 意識消失発作をきたした悪性リンパ腫完全寛解中の39歳の女性

五十嵐忠彦・渡邊 知司・小原 共雄

大生 定義・岡田 定・北原 光夫 1814(8)

(第9回) 肺線維症を伴い、両手指の硬化性浮腫と末梢神経症状を呈した59歳の女性

野城 孝夫・佐藤 秀隆・中山 大典

野沢 靖美・舟生 俊夫・三友 紀男

中山 潤・人見 秀昭・遠藤 実

西坂和喜夫・岡崎 太郎 2028(9)

(第10回) 上下肢脱力と知覚異常を訴えた66歳の男性

東 靖人・木村 文治

原 保夫・神田益太郎・村瀬 永子

大江田知子・里井 斉・梶 龍児 2490(12)

[アメリカ・ブラウン大学医学部在学日記]

1. 医学部1年目の最初の必修課目“Medical Interview” 赤津 晴子 2018(9)
2. 濃厚かつ多彩なアメリカの講義内容 赤津 晴子 2467(10)
3. 週2回の終日授業となる解剖学の講義と実習 赤津 晴子 2482(12)
4. 2年次になる前の1週間の集中講義 Physical Diagnosis 赤津 晴子 2681(13)

[Scope]

対談：動脈硬化症の成因とリスクファクター

山田 信博・阿部 隆三 197(1)

女性ホルモン補充療法―青野敏博教授に聞く

青野 敏博・小澤 安則 1067(5)